



TITLE:

表紙・その他

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・その他. 物理化学の進歩 1942, 16(2)

ISSUE DATE:

1942-03-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/46302>

RIGHT:

第十六卷

第二冊

# 物理化学の進歩

編輯主幹 堀場 信吉 (京都) 鮫島實三郎 (東京)

昭和十七年三月

## 目 次

### 原 報

氣體爆發反應 火花點火に依る酸素水素爆發反應 ..... {後 藤 廉 平... 29  
浦 久 保 喜 兵 衛

Budde 效果の熱解析による自由原子再結合反應の研究

I. 水素原子の再結合 ..... 志 田 正 二... 44

### 紹 介

水素添加銅觸媒に就て ..... 杉 林 和 夫... 37

溶液内の螢光の消失 [II] ..... 松 山 秀 雄... 45

### 抄 録

13. 水素、水及びアンモニア中に於ける低速水素イオンの散亂 (68)    14. エタンの熱分解に對する  
高電壓放電の影響 (68)    15. ノルマルブタンの酸化 (69)    16. シス-トランス異性化反應. I. マ  
レイン酸よりフマル酸への接觸的異性化の機構 (70)    17. シス-トランス異性化反應. II. アミンに  
よるマレイン酸デチル・エステルとの接觸的異性化の機構 (71)    18. Pd- 及 Pt-合成高重合體觸媒  
の製法並びに粒子の大きさと水素添加速度との關係 (72)

日本物理化学研究會刊行

京都帝國大學理學部物理化学研究室内

旭電化工業株式会社	日本窒素肥料株式会社	古河電氣工業株式会社
インライト工業株式会社	川崎造船所	國産工業株式会社
コロイド製藥株式会社	三菱電機株式会社	日本板硝子株式会社
日本光學工業株式会社	日本石油株式会社	日本染料製造株式会社
日本曹達株式会社	日本水素工業株式会社	日産化學工業株式会社
岡田電氣商會	大阪窯業セメント株式会社	島津製作所
新興化學研究所	鹽野香料株式会社	住友電線製造所
關生産業株式会社	高砂香料株式会社	東邦瓦斯株式会社
東邦産業研究所	東海電機製造株式会社	

## 日本物理化学研究会規則摘要

(主として会誌に関するもの)

- 第二條 本會ハ物理化学ニ關スル學術的研究ヲ獎勵シ其ノ發達ヲ圖リ 將來吾國ニ於ケル獨創的化學工業ノ樹立助成ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的達成ノ爲メノ事業ヲ行フ (中略) 三、會誌「物理化学の進歩」及ヒツノ歐文號ノ刊行
- 第五條 會員ハ物理化学ノ研究ニ従事スルモノ又ハツノ進歩發達ニ關心ヲ有スル個人又ハ團體トス
- 細則第一條 會誌「物理化学の進歩」ハ左記内容ヲ有スルモノトス 一、原報又ハ論說 二、紹介又ハ講義 三、抄録 四、記事其ノ他
- 細則第二條 原報トシテ掲載スル研究論文ハ物理化学ニ關スルモノニシテ本會商議員又ハ大學教授ノ研究或ハツノ責任アル紹介ニヨルモノタルコトヲ要ス
- 細則第三條 會誌「物理化学の進歩」ハ會員ニ配布シ且ツ物理化学知識普及ノ目的ヲ以テ之ヲ發賣ス
- 細則第六條 會費ハ一ケ年金參圓トス 但シ本會費ハ會誌「物理化学の進歩」刊行費ニ充ツルモノトス
- 細則第八條 終身會費ハ金五拾圓トス 但シ既納ノ會費ヲ包含セス

入會希望の方は入會申込書に明記の上會費(一ケ年三圓)を添へ、直接本會へ御申込下さい。  
(振替・京都 6047 番・日本物理化学研究会)

## 昭和 17 年 1 月 1 日——3 月 31 日迄新入會員

松 尾 力	原 田 武 夫	日本油脂株式會社試驗所	杉 本 勳
西 正 實	福 宜 川 久 男	朝 枝 孝	池 谷 薫
松 島 正	橋 藤 郎	村 松 彦 司	高 橋 敏 夫
進 藤 三 郎	正 田 嘉 生	小 川 朋 次 郎	井 上 信 雄
平 野 春 夫	川 瀬 三 郎	林 喜 世 茂	酒 匂 徹
折 原 薫	武 田 山 土 工 業 株 式 會 社 水 澤 工 場	氏 家 孝 之	住 友 化 學 工 業 株 式 會 社
桃 木 健 治	伊 藤 廣 二	大 和 紡 績 株 式 會 社 廣 島 人 絹 工 場	平 塚 敏 夫
三菱重工業株式會社名古屋航空機製作所		倉 林 欣 吾	多 田 秀 夫

## 會 費 領 收

自昭和十七年二月一日 至昭和十七年三月三十一日 (尊稱略, 金額略, 來清順)

三菱重工業株式會社名古屋航空機製作所

伊藤 藤 廣 二 (以上終身會費)

大庭 贊 利 川 松 俊 治 西 朋 太 藤 代 亮 一 (以上十八年度)

藤 代 亮 一 (以上十八年度)

豐田 宏 一 馬 場 日 出 男 谷 上 國 雄 高 橋 敏 夫 日本油脂株式會社試驗所

高 橋 敏 夫 日本油脂株式會社試驗所

進藤 吉三郎 鈴木 松 一 林 建 樹 須 藤 秀 治 足 田 嘉 生

須 藤 秀 治 足 田 嘉 生

近藤 廉三郎 小川 明 次 郎 三池染料工業所 岡 分 欣 次 嶺 正 男

岡 分 欣 次 嶺 正 男

中村 吉 德 橋 本 光 一 金 子 正 壽 井 上 信 雄 平 野 春 夫

井 上 信 雄 平 野 春 夫

中川 瀨 三 郎 林 喜 世 茂 岡 小 天 勝 田 正 男 酒 匂 徹

岡 小 天 勝 田 正 男 酒 匂 徹

石倉 又 吉 折 原 幸 介 武田白土工業株式會社水澤工場 加 田 忠 重

武田白土工業株式會社水澤工場 加 田 忠 重

渡邊 恭三 坂 垣 幸 介 住友化學工業株式會社 加 田 忠 重

住友化學工業株式會社 加 田 忠 重

鴨川 晴 比 古 坂 野 知 紀 江 島 俊 夫 駒 形 治 泰 卓 也

江 島 俊 夫 駒 形 治 泰 卓 也

丹羽 四 郎 川 角 正 八 佐 藤 一 雄 山 田 櫻 氏 家 孝 之

佐 藤 一 雄 山 田 櫻 氏 家 孝 之

川瀨 光 吉 横 山 義 男 國華工業株式會社研究所 桃 木 健 治

國華工業株式會社研究所 桃 木 健 治

荒木 長 次 石 黒 武 雄 吉 永 弘 大和紡績株式會社廣島人絹工場

吉 永 弘 大和紡績株式會社廣島人絹工場

吉 永 功 平 井 毓 太 郎 田 村 節 郎 井 上 鋒 明 山 内 鐵 郎

田 村 節 郎 井 上 鋒 明 山 内 鐵 郎

安田 藤 幸 田 附 胖 吉 澤 四 郎 平 塚 敏 夫 高 津 壽 雄

平 塚 敏 夫 高 津 壽 雄

藤山工業圖書館 石 川 朝 邦 原 田 武 夫 吉 田 清 史 春 日 井 佐 太 郎

原 田 武 夫 吉 田 清 史 春 日 井 佐 太 郎

川村 靜 一 武 田 芳 郎 重 岡 文 雄 飯 島 友 弘 神 谷 健 一

飯 島 友 弘 神 谷 健 一

足 田 達 司 堀 内 同 保 三 宅 守 治 牧 島 象 二 坂 田 正 謙

三 宅 守 治 牧 島 象 二 坂 田 正 謙

平 嶋 堂 書 店 細 野 欣 哉 伊 川 正 久 志 田 正 二 大 島 英 二

伊 川 正 久 志 田 正 二 大 島 英 二

精 華 村 浩 一 郎 北 山 義 剛 岡 村 誠 三 井 本 稔 治

岡 村 誠 三 井 本 稔 治

野村 壯 雄 勝 義 孝 木 下 敏 郎 三 浦 政 治 岩 瀬 慶 三

木 下 敏 郎 三 浦 政 治 岩 瀬 慶 三

富士寫眞フィルム株式會社 瀨 川 晃 大 河 原 六 郎 鈴 木 爲 吉

瀨 川 晃 大 河 原 六 郎 鈴 木 爲 吉

山 内 源 登 豐年製油株式會社研究所 向 坊 隆 造 杉 浦 文 雄

向 坊 隆 造 杉 浦 文 雄

三 島 茂 次 平 田 好 顯 甘 粕 信 一 郎 松 田 種 光 中 山 龍 夫

甘 粕 信 一 郎 松 田 種 光 中 山 龍 夫

一方 井 卓 雄 古 本 晴 一 池 田 豐 郎 佐 々 木 勘 造 杉 野 榮 二

池 田 豐 郎 佐 々 木 勘 造 杉 野 榮 二

帝國人絹株式會社廣島工場 榎 峨 山 五 郎 松 河 合 弘 均 三 郎 赤 松 秀 雄

榎 峨 山 五 郎 松 河 合 弘 均 三 郎 赤 松 秀 雄

日本鑛業株式會社 藤 代 亮 一 泉 鶴 田 英 秀 夫 福 井 謙 一 足 田 中 秀 夫

藤 代 亮 一 泉 鶴 田 英 秀 夫 福 井 謙 一 足 田 中 秀 夫

布 施 憲 司 橋 本 三 郎 西 岡 秀 忠 鈴 木 食 料 工 業 株 式 會 社 宇 野 昌 平 郎 之 三

橋 本 三 郎 西 岡 秀 忠 鈴 木 食 料 工 業 株 式 會 社 宇 野 昌 平 郎 之 三

輕 部 末 一 郎 佐 山 英 二 友 成 忠 雄 三 井 啓 策 郎 小 寺 熊 三 郎 大 島 幹 清

佐 山 英 二 友 成 忠 雄 三 井 啓 策 郎 小 寺 熊 三 郎 大 島 幹 清

井 手 關 克 巳 一 郎 浦 久 保 喜 兵 衛 堂 鈴 木 食 料 工 業 株 式 會 社 宇 野 昌 平 郎 之 三

浦 久 保 喜 兵 衛 堂 鈴 木 食 料 工 業 株 式 會 社 宇 野 昌 平 郎 之 三

今 木 武 一 郎 岡 山 壽 太 郎 堀 山 本 勇 郎 須 具 金 次 郎 梅 長 村 修

岡 山 壽 太 郎 堀 山 本 勇 郎 須 具 金 次 郎 梅 長 村 修

又 方 治 五 郎 瀨 戶 子 正 安 中 野 明 昌 三 郎 小 寺 熊 三 郎 大 島 幹 清

瀨 戶 子 正 安 中 野 明 昌 三 郎 小 寺 熊 三 郎 大 島 幹 清

四 島 村 修 金 子 正 己 中 野 明 昌 三 郎 小 寺 熊 三 郎 大 島 幹 清

中 野 明 昌 三 郎 小 寺 熊 三 郎 大 島 幹 清

明治製糖株式會社研究所 清 廉 平 吉 忠 明 須 具 金 次 郎 梅 長 村 修

清 廉 平 吉 忠 明 須 具 金 次 郎 梅 長 村 修

渡 邊 成 人 佐 野 幸 義 木 下 義 孝 明 須 具 金 次 郎 梅 長 村 修

佐 野 幸 義 木 下 義 孝 明 須 具 金 次 郎 梅 長 村 修

石 川 總 雄 木 宮 木 孝 明 須 具 金 次 郎 梅 長 村 修

木 宮 木 孝 明 須 具 金 次 郎 梅 長 村 修

東洋紡績株式會社 木 下 義 孝 明 須 具 金 次 郎 梅 長 村 修

木 下 義 孝 明 須 具 金 次 郎 梅 長 村 修

倉 林 欣 吾 宮 木 孝 明 須 具 金 次 郎 梅 長 村 修

宮 木 孝 明 須 具 金 次 郎 梅 長 村 修

滿洲電氣化學工業株式會社 大 原 英 一 丸善株式會社新京出版所 (以上十六年度)

大 原 英 一 丸善株式會社新京出版所 (以上十六年度)

# 各種測定器マツダ

光電管應用器具

光電照度測定裝置

光電測光裝置

紫外線測定器

光電池應用器具

照度計 透過率計

反射率計 比色計

マツダ照度計

陰極線オシログラフ裝置

陰極線オシログラフ裝置  
並に附屬裝置

ストロボ裝置  
各種發振器  
並にブリツチ類

川崎市

東京芝浦電気株式会社マツダ支社

K-7

昭和17年3月25日印刷

昭和17年3月30日發行

編輯者

編輯者

印刷所

物理化学の進歩

第16巻 第2號

(年6回刊行)

堀場 信 吉

京都帝國大學物理化学研究室

福井 松之助

京都市中京區御馬場三條南

株式会社 似玉堂

京都市中京區御馬場三條南

定價 60錢 (送料6錢)

會員會費1年分3圓

發行所  
(入會申込所)

配給元

販賣所

日本物理化学研究會  
振替・京都6047番

(日本出版文化協會會員 No. 222065)

日本出版配給株式會社

東京市神田區淡路町二ノ三

岩波書店

東京市神田區一ツ橋二ノ三

丸善株式會社京都支店

京都市中京區三條東馬町

◇ 本誌に關する批評, 注意, 要求は京都市國大學物理化学研究室内, 水渡英二宛に願ひます。

# THE REVIEW OF PHYSICAL CHEMISTRY OF JAPAN

Edited by

Prof. S. Horiba, (Kyoto) and Prof. J. Sameshima, (Tokyo).

---

Vol. XVI, No. 2

March, 1942

---

## Contents

### Originals

- R. Goto and K. Urakubo: The Explosive Reactions of Gases. The  
Pressure Effect of the Spark Ignition of Oxy-hydrogen Gas..... 29

- S. Shida: A Study of the Recombination Reactions of Free Atoms  
by the Thermal Analysis of Budde-effect. (I) The Recombination  
of Hydrogen Atoms..... 44

### Reviews

- K. Sugibayashi: Copper Hydrogenation Catalysts..... 37  
H. Matsuyama: Quenching of Fluorescence in Solution (II). .... 45

- Abstracts ..... 68

---

Published by

The Physico-Chemical Society of Japan



月刊 自然科学雑誌

# 科 學

編輯

安藤廣太郎 岡田武松 柴田桂太 大河内正敏 小泉 丹  
 柴田雄次 橋田邦彦 坪井誠太郎 仁科芳雄 主任 石原 純

「自然科学の進展日さしく、學界の活躍益々盛んならんとする時、苟も之に心を寄する人々は自然科学全般の不斷の情勢を知るべき何等かの機關を必要とするであらう。

本誌は英の Nature, 米の Science, 佛の Revue générale, 獨の Naturwissenschaften 等と使命を同じうするものであつて發刊以來 11 年の歳月を閲し、茲に全く我國唯一の一般自然科学雑誌としての内容、體裁、權威を具ふるに到つた。學徒諸士は本誌によつて初めて各自に必要な視野を得られるであらう。

## 5 月 號 内 容

### 巻 頭

度法衡の統制

### 學界展望 (特輯—最近の金屬物理學)

三倉二郎: 低温と最近の金屬物理學

袋井忠夫: 金屬薄膜の電氣傳導に就て

林 威: 金屬による X 線の發輝と吸收

有山兼孝: 半導體に關する近頃の理論

宮原將平・岡村俊彦: 半導體の強磁性

茅 誠司: 金屬固溶體に於ける規則格子生成の實驗的研究

高木 豊: 安定な規則格子の理論

廣根徳太郎・宮原將平: 強磁性に關する諸問題

### 寄 著

水溶液に於ける Faraday 效果 (續報) (岡崎篤義), 稀有瓦斯元素構造イオンの分子屈折と Faraday 效果 (岡崎篤義), 滿洲第二の深湖老嶺龍潭其他の調査結果 (山本莊毅), 北支産黃土に關する一知見 (川原風策・松座鍾三), 熱帯産シホマネキ (Uca dubia STIMP) ♀ の體色變化機構に關聯する血液移注實驗 (榎並 仁), 光分解による靑紅分子量の減少率に就て (江原勇吉)

### 研究時報

函數論及び實變數函數論 (龜谷俊司), 金屬鑄床學 (渡邊武男), 岩石學 (小島丈兒)

### 新刊書—科學時事—學會消息

日本學術振興會學術部研究彙報

發行所 東京市神田區 岩波書店  
 一ツ橋二ノ三

特 價 70 錢 (送料 2 錢)

半年分 ¥3.00, 1 年分 ¥6.00

電話九段 (33) 代 0187

振替口座東京 26240



主 筆 工學博士 喜 多 源 逸

## 月 刊 化 學 評 論

一冊 60 錢  
(送料2錢)  
前金 一年6圓  
(送料共)

## 第 8 卷 第 3 號

- [294] 發色現象の化學……………庄 野 伸 雄  
 [295] 極壓添加剤 (I)……………岡 本 昇 二  
 [296] 脂肪族アルデヒドと鹽酸によるクロルアルキル化の方法に就いて…鶴 田 禎 二  
 [297] 合成タンニンに依る皮の鞣製に關する私見 (I)……………川 中 建 雄

## 第 8 卷 第 4 號

- [298] 膠質狀粘土ベントナイトの成因・組成・分類……………川 村 信 一 郎  
 [299] 油脂成分の吸着分離……………川 合 誠 治  
 [300] Staatsmijnen-Otto 法に依るガスの脱硫……………堀 口 博  
 [301] バルブ資源としての南洋材……………大 田 永 勝

## 化 學 評 論 社

編 輯 所

京 都 市 吉 田 京 都 帝 國 大 學  
工 業 化 學 教 室 喜 多 研 究 室  
電 話 上 九 八 〇 番 (學 內 十 九 番)

發 行 所

大 阪 市 西 區 京 町 堀 通 一 丁 目  
電 話 土 佐 堀 二 四 〇・四 六 八 番  
振 替 口 座 大 阪 一 七 六 一 三 番

## X 線

第 3 卷 定價 .50  
第 1 號 送料 .03會 誌 “X 線” 年 4 回 3, 6, 9, 12 月 各 月  
13 日 發 行 (會 員 に は 無 代 送 呈).  
例 會 年 2 回 開 催. 會 費 年 2 圓  
會 則 及 入 會 申 込 書, 申 込 次 第 送 呈

## 主 要 目 次

寫 眞	天然ラミー及び高度配分ラミーのX線寫眞	
卷 頭 言	學會に於ける討論……………	(1)
研 究	過冷却狀態に於ける數種の有機物質のX線検査……………島 津 新 一…	(2)
	二元運動陽極型X線管球……………枝 本 勇 雄…	(5)
	天然及び水和纖維素の相互轉移の研究 (其の一)……………久 保 輝 一 郎…	(9)
綜 説	ヴィニル系高重合體のX線圖的研究……………櫻 田 一 郎…	(22)
講 義	X線分光學 (其の一)……………澤 田 昌 雄…	(28)
抄 録	A. 一 般…(37) B. 裝置及び實驗法…(37) F. 金屬及び合金…(37)	
	G. 無機化合物…(38) H. 有機化合物…(40) I. 纖維及び高分子化合物…(41)	
	J. 電 子 線…(42)	
	本邦に於けるX線學に關する文獻 (其の五)……………	(44)
	X線學に關する用語調査 (其の一) X線物理學に關するもの……………	(45)

財団法人 日本化学研究会編纂

主幹 理學博士 眞島利行

月刊

## 日本化学總覽

規格 B5 版・ハボイント横組・毎號 60 頁内外

日本化学總覽は我が國に於て發表せる理・工・醫・藥・農の諸學術方面に亙る雑誌・報告書・特許公報等約 300 種の原報より化学關係の業績は總て迅速に要點を抄録報導す。一讀よく本邦化学關係研究の報告及特許等の内容を容易且つ最も經濟的に知悉し得べく、研究家、實際家並に發明家の研究工夫に裨益する處尠からざるべし。毎卷完全なる「著者名及事物索引」を附す、本總覽の活用上必要缺くべからざるものにして、蓋し本誌の一大特色とす。

内容見本通呈

會員略規

月刊雑誌「日本化学總覽」は本會會員に配布す。入會御希望の方は半ヶ年分以上の會費を添へて直接本會に申込まれたし。

通常會員の會費一ヶ年分（前納の事 2 回に分納可）次の如し。

甲種（索引及製本用表紙配布）9 円 74 銭 乙種（索引配布）8 円 74 銭

〔化学關係學會員並に學生諸君には割引す： 甲種 8 円 10 銭 乙種 7 円 20 銭〕

## — 待望の 日本化学總覽 完備す —

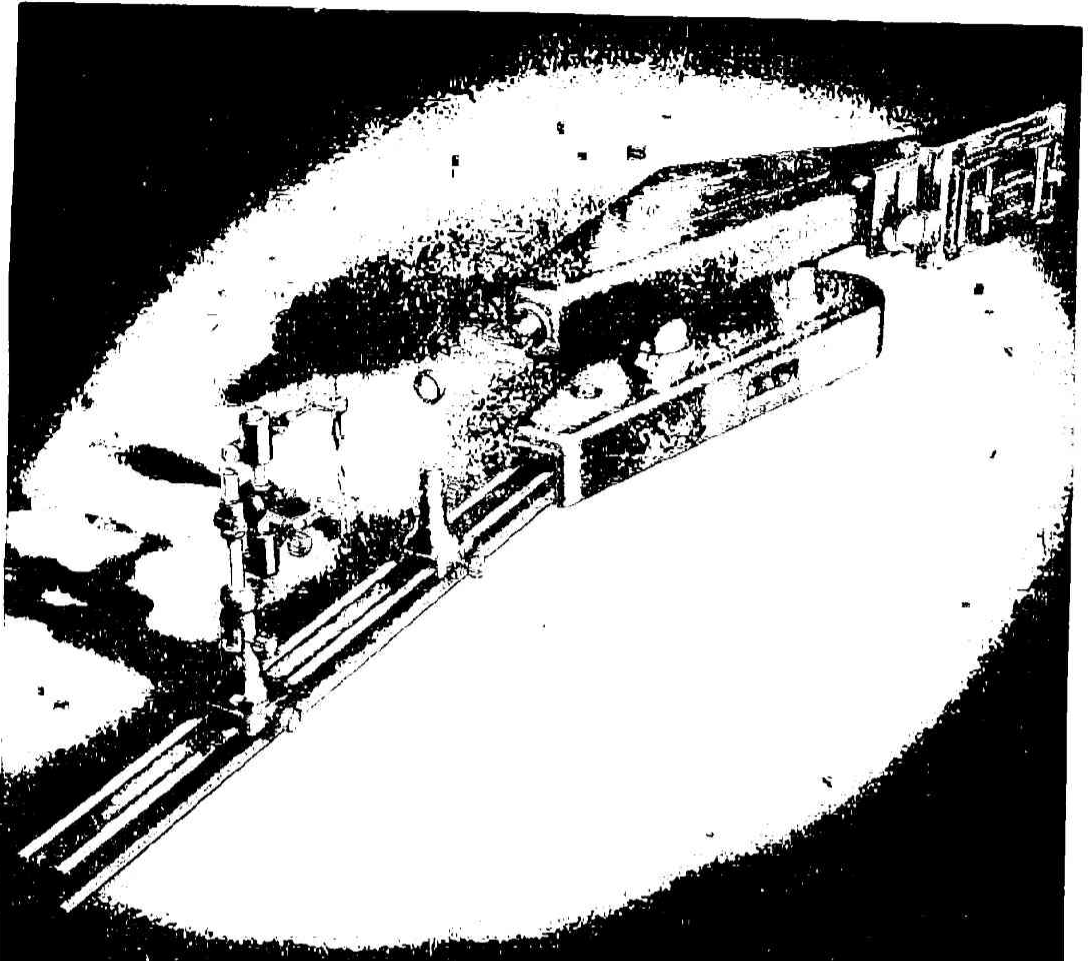
**第一集 第壹卷—第七卷** (7冊) 明治10年より大正15年まで50年間本邦に於て研究發表せる化学及關係學術の文獻及び發明者苦心の成果たる特許（特許番號 No. 1 より集録）の内容を抜萃して集載せるものなり

**第二集 第壹卷—第十三卷** (13冊) 昭和元年以後の文獻を抄録集載す。昭和2年以來毎月發行せる總覽を分冊したるものなり

定價各冊 ¥ 12.50 送料 ¥ .45

財団法人 日本化学研究会 仙臺市東三番町一八七

振替仙臺8158・電話仙臺4461



# 島津分光分析装置

詳細型録送呈

## 島津製作所

京都・大阪・東京・福岡・新京・大連 奉天・北京・京城・臺北・名古屋・神戸

# 應用有機化學最近の諸問題

大阪帝國大學教授 理學博士 船久保英一  
名古屋帝國大學教授 工學博士 宮川一郎  
九州帝國大學教授 工學博士 栗山捨三  
鹽修

第一輯 最新刊 A5判・紙裝・二〇頁 正價二圓五十錢 送料二錢 以下續刊

本書は燃料・食料・榮養・化學兵器・火藥其他に關し各専門權威の最近の經驗を交織せる清新且つ適確な執筆を網羅し、斯業の現狀を紹介すると同時に明日のそれに對する原動力たらしむるため科學人としての進路を適確に指適した。一般應用化學研究家並に技術者の足掛とも讀むべき新著である。

## 第一輯 內容 執筆 筆者

1. 香料化學より見たる有機合成化學の諸問題 理學博士 山下正太郎
  2. ビタミン複合體 工學博士 高田亮平
  3. 有機化學反應機構 工學博士 井本 珍
  4. 褐炭より木炭代用燃料の製造 (工學博士) 阿部良之助
- 第二輯 內容 執筆 筆者 (近刊・價二圓五〇錢 送料二錢)
5. 無水酒精に關する問題 (工學博士) 中村 勝
  6. 最近に於ける合成ゴムの研究問題 工學博士 宮川一郎
  7. 感光色素 工學博士 尾形輝太郎
  8. 大豆化學工業 工學博士 猪口金次郎

廣島文理科學部教授 理學博士 柴田榮一著  
無機化學原論 結晶化學編  
▼A5判・五八〇頁 正價七圓八〇錢 送料三三錢

訂正再版！無機化學界に登場する固體物質を近時頗に發展した結晶化學の立場から見る時、そこに極めて整然たる系統がある。本書はその簡單な固體の構造から複雑な構造のものへ、恰も物語りを讀む如く容易に習得出来るやう書かれた。

北海道帝國大學教授 理學博士 太秦康光著

發光分光化學分析法  
▼A5判・二五〇頁 正價三圓八〇錢 送料二二錢

増訂再版！今迄行はれた分光化學分析法を古典的のものより、最近發表のものまで一挙に網羅し、器械の取扱ひ其他操作の實際を詳述し、又發光分析のみならず從來稍聞知され勝ちであつた吸收分光分析をも詳しく説明した。

東京帝國大學教授 農學博士 角倉邦彦著

分析化學綜論 上・中・下三冊  
A5判・全二冊 正價三圓八〇錢 送料各二二錢

東京帝國大學教授 理學博士 鈴木金一著

應定量分析法 A5判・四〇〇頁 正價四圓五〇錢 内地送料二二錢

廣島文理科學部教授 理學博士 柴田榮一著

柴田榮一著 週期律活用圖表 掛圖用 四圓八〇錢 折疊用 三圓八〇錢 送料約二五錢

## 最近既刊目次

## 第十五卷 第五輯

## 原 報 (歐文)

ニッケル觸媒の存在に於けるイソブチレンの水素添加..... 露 山 亮... 137

硝子製新高温カロリメーター..... { 近 藤 健 一... 145  
水 渡 英 二... 145

## 紹 介

氣相に於ける低級アルデハイドの酸化反應..... 八 木 三 郎... 155

混合氣體のモーター發火の物理化學的問題 | 電機的發火... { H. Zeise  
長谷川繁夫抄譯... 173

## 抄 録

## 第十五卷 第六輯

## 原 報 (歐文)

熱解析法に依るコロイド觸媒作用の研究 (第三報) 白金コロイ

ドに依る過酸化水素の分解に對する酸及び鹽基の影響..... 水 渡 英 二... 155

カルシウム・カーバイドの存在に於けるイソ及びホルマール・ブ

チル・アルコールの合成..... 根 岸 長 二... 171

訂 正..... 170

吾國に於ける物理化學研究の抄録 (歐文)..... 183

## 紹 介

炭化水素の熱力學 (其二)..... 川 北 公 夫... 205

蒸發金屬薄膜の觸媒活性度、結晶構造及吸着性..... 小 野 宗 三 郎... 235

## 抄 録

## 第十六卷 第一輯

## 原 報

熱解析法によるコロイド觸媒作用の研究 (第四報) 水素、酸素

及び窒素—白金ゾルに就いて..... 水 渡 英 二... 1

高壓下に於ける  $\text{NH}_3$  と  $\text{CO}_2$  とから尿素合成に關する研究

(其の一、豫報) カーバミン酸アンモニウムからの尿素生

成條件の吟味..... { 久 米 泰 三... 17  
東 原 五 郎... 17  
海 村 雄 造

## 紹 介

人工放射能の化學への應用 (其一)..... 水 渡 英 二... 1

高壓に就いて [I]..... 露 山 亮... 18

## 抄 録